

2. 区民部会の進め方

2-1. まちあるき点検

昨年度までは、地区別構想において生活関連施設及び生活関連経路に設定されたもののうち、バリアフリーが進んだ施設及びバリアフリー化に向けた更なる改善が必要な施設について、当事者参加によるまちあるき点検を実施してきました。

今年度は、新たな取組として、特定事業者から点検要望のあった施設・経路を対象に点検を実施し、障害当事者等の意見をバリアフリー整備に直接反映するとともに、事業者と区民の協働による特定事業の推進を目指します。

下表に今年度のまちあるき点検候補地を示します。あくまで現段階の候補であり、実施確認やスケジュール等は未確定です。今後、実施に向けて関係事業者のみなさまと調整する予定です。

表2-1 令和5年度のまちあるき点検候補地

地区	点検候補地	点検の視点	事業者からの要望等
赤羽	医療法人財団逸生会 大橋病院	・ <u>建替えによるバリアフリー化された施設の整備</u>	・ 移転工事予定があるため点検を要望
	生活関連経路 (赤-03)	・ 複合施設整備に併せた道路改修	・ 昨年度工事中であったため十分な点検ができなかったが、工事が完了したため点検を実施
滝野川	滝野川体育館	・ 利用者動線を含めた全体的なバリアフリー状況の確認	・ 防災センターとあわせて大規模改修計画を進行中のため点検を要望
	滝野川公園	・ 園内出入口、トイレ(車いす使用者用トイレ、男女別トイレ)、園路	・ 令和6年度改修予定のため点検を要望

※下線部は特定事業に位置づけのある項目

2-2. こころのバリアフリーに関する取組

全体構想では、スパイラルアップの一環として継続される協議会の場を活用してこころのバリアフリーに関する意見交換や勉強会、ワークショップなどを実施し、成果を広く発信することにより、こころのバリアフリーの推進を図ることとしています。これを踏まえ、平成 28 年度から令和 4 年度までに以下の取組を実施しました。

表 2-1 過年度におけるこころのバリアフリー推進の取組

年度	取組内容
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none">● 意見交換によるこころのバリアフリーの実情の共有● こころと情報のバリアフリーに関する今後の取組のアイデアの検討
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none">● 特別支援学校へのアンケート及びヒアリング調査による当事者の声の収集● 啓発用リーフレットの作成● 協議会や合同意見交換会での事業者への障害理解の実践
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none">● 区立小学校へのアンケート調査による子どもの障害者への配慮状況の把握● 視覚障害者誘導用ブロックを活用した案内表示の検討● 事業者への障害理解の実践（合同部会での障害疑似体験）● 区民（民生委員）への障害理解の実践（ボッチャ体験・施設見学会）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none">● 区立小学校へのアンケート調査による子どもの障害者への配慮状況の把握● VR による啓発動画の作成に向けた情報収集・体験・企画案の検討
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none">● VR による啓発動画の作成● VR 動画視聴会
令和 3～4 年度	<ul style="list-style-type: none">● 区立小・中学校における VR 動画活用による啓発活動

昨年度末に実施した意向調査結果をもとに、今年度実施を検討したい取組（案）を次頁に整理しました。区民部会が主体となった人的対応・こころのバリアフリーの推進に向けて、区民部会委員のみなさまのご意見や関係者との調整を踏まえ、実現可能な取組を検討します。

【令和5年度における人的対応・こころのバリアフリーに関する取組（案）】

項目	人的対応・こころのバリアフリーの推進に向けた取組の意向調査での主なご意見	令和5年度の取組（事務局案）	実施に際し調整が必要な点	
災害時のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に起こりうるボヤ、火災など非災害時における、集合住宅の障害者・高齢者を対象とした避難マニュアルの作成。具体的には、避難困難者の把握、避難支援体制の確立、車いす利用者の避難設備、器具の検証、状況に応じた避難手順書の作成。 「災害時の避難」など共通の問題をテーマとした、健常者と障害者による本音の懇談会 広く区民が参加出来る、障害者理解実践の場としての防災訓練、避難訓練等 水害を想定した要支援者の避難訓練を実施し、個別避難計画作成の一助とする。合わせて避難経路上のバリアフリー上の課題、改善点を抽出 	<p>■避難行動要支援者と避難支援等関係者(民生委員等)による意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時・避難時に配慮してほしい点の共有 等 	<ul style="list-style-type: none"> 北区避難行動要支援者名簿を管理する所管課の連携・協力が必要 	
障害者向けの利用体験	<ul style="list-style-type: none"> 普及してきている（側方乗降タイプ）ユニバーサルデザインタクシーの車いす利用の検証 駅前広場タクシー乗降所、歩道付きの道路、歩道のない道路で、標準タイプ、リクライニングタイプ、電動タイプの車いすで乗降を実際に行い、問題点に関する改善案を検討 	<p>■UD タクシーの利用体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー事業者への障害理解促進及び接客技術の向上 障害当事者における不安や困難さの払拭 	<ul style="list-style-type: none"> タクシー会社の協力が必要 開催場所の確保が必要 	
区民への普及・啓発	障害体験（障害理解）	<ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉課と共催で、区民への啓発を目的とした、人の集まる所でのバリアフリー教室の開催 誰でもバーチャル体験ができるようなVR 動画を作成し、北区のYouTubeチャンネルで公開 区の行事などイベント参加者を対象としたバリアフリー体験会・バリアフリー講座（限られた時間での実施を想定した（教科書代わりに）定番のリーフレットの準備、基本的なプログラムの開発・導入、参加方式も検討） 	<p>■既存イベントと連携した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おちゃのこ祭り」や「ユニバーサルスポーツ体験会」等の既存イベントと連携 障害者向けの利用体験会や障害体験・介助体験、VR 動画の体験会を同時開催し、参加者にアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 連携するイベントと具体的な連携方策について検討が必要 体験会等を実施する場合は開催場所の確保が必要 VR ゴーグルの使用対象年齢は中学生以上のため、小学生以下には代替としてタブレットの準備が必要
	障害者スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 成人、社会全体の意識変革のための活動 障害者スポーツの体験会（例えば、以前民生委員の障がい福祉部会と実施したポッチャの体験会のようなもの） 		
	SNS 等の活用	<ul style="list-style-type: none"> 支援する側・される側の心の通い合いを「日本語で」「SNSで」つぶやくことによる「こころのバリアフリーの見える化」運動 具体的には、#バリアフリー #人的対応 #めいあいへるぶゆー #お役にたてまして！ など、分かりやすいハッシュタグをつけて、ありがとう！とかお役に立てて良かった！という一瞬の気持ちを匿名などで短文つぶやく取組を組織的に提案・推進 取組を通じた地域の風土づくり 	<p>■SNS 活用に向けた取組検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 活用ルール・方法等の検討 試行 	<ul style="list-style-type: none"> 誰がアカウントを管理するのか調整が必要
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 認知能力維持向上のための『意見を書く』ワークショップ 具体的には、リベラルアーツ主要7科（算術、幾何、天文、音学、文法、論理、修辞）に関連した専門家を招き、彼らの見解をきっかけに、参加者各自の考えを文字にする 『論理』的思考にもとづく美しい『修辞』表現力を学ぶことで他者と自己のちがいを理解し、人的対応力を養う 高齢者とそれらを支援する方々などを中心に全世代で文字を書くことに必要性がある方を対象とする 		
事業者への普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 事業者への知的障害・発達障害の理解を推進する取組 具体的には、専門家の方や当事者の方を招いての、個人個人の特性に配慮した対応について、学びを深める実技研修会などの開催 新庁舎予定地、北とぴあを含む王子地区のまちあるきとワークショップを実施、取組を通じて施設での人的対応について提言 	<p>■まちあるき点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定事業者から要望のあった施設においてまちあるき点検を実施 ハード・ソフト施策の充実に向けて現地確認・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 実施時期、点検箇所等について事業者との調整が必要 	
小中学生への教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒を対象とした出前授業 目かくし、車イス体験やユニバーサルデザインについて知る機会の創出 授業の一環としての定期的な小中高の学校間交流 日常的に障害のある方と関わることで心のバリアフリーを実現 健常者も障害者も、小さい時から仲間として育てるインクルーシブ教育 小・中学校への啓発活動 王子・赤羽・滝野川地区で小学校各1校・区全体で中学校1校を対象に毎年実施できるよう小・中学校校長会への働きかけ 児童・生徒を対象としたバリアフリー教室（具体例だけでなく、法律の目指す社会像を幹・理念として伝え、過去・将来の自分ごと、家族ごと、友達のこととしての意識形成を図る） 	<p>■バリアフリー教室 in 柳田小学校と連携した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害当事者との交流機会創出やや介助体験の実施 あわせて障害当事者の利用体験会（バス）を行うことで、不安や困難さを払拭 	<ul style="list-style-type: none"> 連携方策について検討が必要 東京運輸支局や柳田小学校との調整が必要 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 健常者と障害者が一緒になって「何かに取り組む」ことで相互理解を促進 			